

1 第21回G7下院議長会議

(1) G7下院議長会議について

① 概要

本件会議は、行政府のみならず議会レベルにおいても世界各国からG7各国（日、加、仏、独、伊、英、米）のリーダーシップが期待されている中、対外的に下院を代表する議長同士が一堂に会し、国際的諸課題への議会としての対応、各国における議会制度上の懸案事項等について、おおむね2つの議題を設定し、忌憚のない意見交換を行うものである。

② 経緯

平成14（2002）年カナダでの第1回会議以後、毎年1回開催されている（第1回から第12回まではG8サミットのホスト国、第13回以降はG7サミットのホスト国による持ち回り。平成26（2014）年は、ウクライナ情勢を受け、ロシアが主催国であったが開催されず）。

なお、平成19（2007）年のドイツにおける第6回会議において、欧州議会議長が今後恒常的なゲストとして会議に参加することが了承された。

③ 会議の形式

会議の議題は、主催国が提案し決定される。会議においては通常、それぞれの議題につき、基調演説の後、自由討議が行われる。国によっては、議長が不偏不党の立場にあることから、政治的な発言をすることができないため、各国議長は議会代表としての立場にとらわれず個人として発言する。会議は非公開であるが、主催国の議長が記者会見等において会議の総括を行うことがある。

なお、平成13（2001）年の準備会合（伊）において、政治宣言等で締めくくることはしないこととされたが、第17回会議（仏）では主催国議長の強い意向及び提案を踏まえ、共同宣言が発出され、その後の会議においても宣言が採択されている。

(2) 第21回G7下院議長会議の概要

① 経緯

第20回会議（令和4（2022）年・独）において、細田議長は、次回会議を来年に東京にて開催する旨発言した。その後、日程を令和5（2023）年9月7日（木）～10日（日）とし、8日（金）に衆議院第一議員会館国際会議場を会場として会議を開催し、9日（土）に京都を視察することに決定した。また、ウクライナからの要請を受けて検討した結果、ウクライナをゲストとして招待することに決定した。

今次会議は平成28（2016）年の東京・京都での開催以来3回目となる日本開催であり、各

国下院議長、欧州議会議長のほか、ウクライナ最高会議議長の参加を得た。

② 出席者

日本	細田 博之 衆議院議長 海江田万里 衆議院副議長
カナダ	アンソニー・ロタ 下院議長
フランス	ヤエル・ブロン＝ピヴェ 国民議会議長
ドイツ	ベアベル・バース 連邦議会議長
イタリア	ロレンツォ・フォンターナ 下院議長
英国	リンジー・ホイル 下院議長
米国	ケビン・マッカーシー 下院議長
欧州議会	ロベルタ・メツォラ 議長（恒常的ゲスト）
ウクライナ	ルスラン・ステファンチューク 最高会議議長（ゲスト）

③ 全体日程

- 9月7日（木）
 - 二国間会談（ウクライナ）
 - 衆議院議長主催歓迎レセプション
- 9月8日（金）
 - G7下院議長会議
 - 議題1「ロシアによるウクライナ侵略と国際秩序」
 - 天皇陛下御引見
 - G7下院議長会議
 - 議題2「エネルギー安全保障と国際協調」
 - 衆議院議長主催夕食会
- 9月9日（土）
 - 京都へ移動
 - 京都視察（金閣寺、茶道体験（裏千家）、楽美術館）
 - 衆議院議長主催夕食会
- 9月10日（日）
 - 各国代表団離日

④ 会議日程

- 第1セッション「議題1：ロシアによるウクライナ侵略と国際秩序」
 - 【開会挨拶】海江田衆議院副議長（細田衆議院議長代理）
 - 【基調演説】ステファンチューク・ウクライナ最高会議議長及びホイル英国下院議長
 - 【自由討議】
- 第2セッション「議題2：エネルギー安全保障と国際協調」
 - 【基調演説】マッカーシー米国下院議長、ブロン＝ピヴェ・フランス国民議会議長及びメツォラ欧州議会議長
 - 【自由討議】
 - 【宣言採択】
 - 【次回開催国挨拶】フォンターナ・イタリア下院議長
 - 【閉会挨拶】海江田衆議院副議長

⑤ G7下院議長会議における議論の概要

会議冒頭、細田衆議院議長の代理として出席した海江田衆議院副議長から歓迎及び開会の挨拶が行われ、ステファンチューク・ウクライナ最高会議議長の出席を歓迎するとともに、議会として国際的な諸課題に対しどのような役割を果たすことができるのか、各国議長と忌憚のない意見交換を行いたい旨述べた。

第1セッションは、「ロシアによるウクライナ侵略と国際秩序」を議題とし、ステファンチューク議長及びホイル英国下院議長から基調演説があった後、各国議長間の議論が行われた。

海江田副議長からは、細田議長の発言予定の内容に沿って、ロシアによるウクライナへの侵略を改めて強く非難し、ロシアの核兵器による威嚇、ましてや使用はあってはならないと訴えるとともに、力による一方的な現状変更の試みは、欧州のみならず世界中のいかなる地域においても許されないことを強調した。また、我が国によるウクライナ支援の内容を紹介し、今後の復旧・復興に当たっても「日本ならではの」きめの細かい支援を行っていくと述べるとともに、今般の侵略で偽情報が民主主義の脅威であることがあらわとなった旨指摘し、議会における真摯な討論、そして議会と国民とのコミュニケーションが一層重要な意味を有すると述べた。

第2セッションは、「エネルギー安全保障と国際協調」を議題とし、マッカーシー米下院議長、ブロン＝ピヴェ・フランス国民会議議長及びメツォラ欧州会議議長から基調演説があった後、各国議長間の議論が行われた。

海江田副議長からは、同様に細田議長の発言予定の内容に沿って、ロシアによるウクライナ侵略によってエネルギー市場が混乱し、各国は脱ロシアを進めつつ、エネルギーの安定供給を確保する必要性が生じたことを指摘し、一方でG7各国は遅くとも2050年までに温室効果ガスの排出量をネット・ゼロにする責任を負っていると述べた。その上で、再生可能エネルギーの主力電源化や原子力の活用などの「グリーン・トランスフォーメーション」（GX）の実現に向けた我が国の取組を紹介し、各国の事情に応じ、経済成長を阻害せず、あらゆる技術やエネルギー源を活用する多様な道筋の下で、ネット・ゼロという共通のゴールを目指す必要がある、そのために国際協調が不可欠であると述べた。

最後に、宣言が採択され、発出された。

閉会に際し、海江田副議長から閉会の挨拶が行われ、フォンターナ・イタリア下院議長から次回会議開催国として挨拶があった。



天皇陛下御引見



セッション前の記念撮影



セッション風景



ステファンチューク・ウクライナ最高会議議長との会談



(参考) 過去のG7下院議長会議

(第14回以降)

回次	開催日及び開催地	議 題
14	平成28(2016)年 9月1～4日 東京(日本)	社会的統合に果たす議会の役割
		安全保障体制の強化に向けた取組と議会
15	平成29(2017)年 9月7～10日 ローマ・ナポリ(イタリア)	テロの防止・テロとの闘いに関する国際協力
		市民参加の促進のための開かれた議会
		不平等との闘い及び包摂的な社会の構築における議会の役割
		持続可能な開発のためのエネルギー転換
16	平成30(2018)年 9月6～8日 ハリファックス(カナダ)	議会による監視と国家安全保障
17	令和元(2019)年 9月5～7日 ブレスト(フランス)	海洋にコミットする議会。持続可能な開発のための規制とは?
18	令和2(2020)年 9月12～13日 オンライン形式(米国主催)	全ての人々にとっての経済的及び環境的公正を伴う形で気候危機に対処する
19	令和3(2021)年 9月17～19日 チャーリー(英国)	安全な議会か開かれた議会か
		議会への市民のアクセスと、議員及びスタッフの安全をどのように両立させるか
		議会の建物を超えて地域社会へ—国際問題に対する地域の声
		社会的受容—開かれた議会におけるソーシャルメディアの役割
臨時	令和4(2022)年 3月16日 オンライン形式(ドイツ主催)	ウクライナ最高会議議長による同国の現状報告、同議長との意見交換及び各国議長発言
		共同宣言の議論及び採択
20	令和4(2022)年 9月15～17日 ベルリン(ドイツ)	ロシアによるウクライナ侵略—新たな国際安全保障の構造への帰結
		市民教育による民主主義の強化

※総選挙後特別会召集前のため議長不在だった第4回及び第8回並びに当時の国内政治情勢等を踏まえ欠席した第19回会議(大島衆議院議長(当時)からビデオメッセージを发出)を除き、日本は全て議長が出席。

2 議員海外派遣

令和5（2023）年の議員海外派遣は以下のとおりである。

【第211回国会閉会中】

渡航(派遣)期間	国名	派遣の目的	派遣議員名
令和5 (2023) 7. 3～ 7. 9	英国 スペイン イタリア	欧州各国における議会制度及び政治経済事情調査	山口 俊一君、盛山 正仁君、 武藤 容治君、吉川 元君、 岡本 三成君
7. 9～ 7. 14	フィンランド スウェーデン ドイツ	フィンランド及びスウェーデンにおける地域活性化・こども政策・デジタル社会形成の事情等に関する調査	橋本 岳君、坂本 哲志君、 坂本祐之輔君、田中 英之君、 中川 宏昌君
7. 9～ 7. 19	フランス アイルランド フィンランド	欧州各国の憲法及び国民投票制度に関する実情調査	森 英介君、新藤 義孝君、 中川 正春君、濱地 雅一君、 北神 圭朗君
7. 12～ 7. 21	フランス ベルギー 英国 イタリア バチカン	欧州各国における安全保障政策等の実情調査	鬼木 誠君、若宮 健嗣君、 篠原 豪君、國場幸之助君、 斎藤アレックス君
7. 17～ 7. 26	クロアチア エジプト インド	クロアチア、エジプト及びインドにおける国土交通事情等の調査	木原 稔君、中根 一幸君、 長坂 康正君、谷田川 元君、 中川 康洋君、櫛渕 万里君
7. 28～ 8. 7	ポーランド ジョージア ベルギー フランス	ポーランド、ジョージア、ベルギー及びフランスにおける政治経済等実情調査	大西 英男君、井上 信治君、 青柳陽一郎君、浅野 哲君
7. 30～ 8. 3	フィリピン	フィリピン共和国議会との交流促進及び政治経済事情調査	森山 裕君、奥野 信亮君、 大塚 拓君、青山 大人君
8. 1～ 8. 4	タイ	タイ王国における政治経済事情等調査	安住 淳君、御法川信英君、 丹羽 秀樹君

渡航(派遣)期間	国名	派遣の目的	派遣議員名
令和5 (2023) 8. 1～ 8. 10	フランス イタリア バチカン	フランス及びイタリアにおける消費者問題等(特に食品ロス及び食品安全)に関する調査	稲田 朋美君、宮下 一郎君、 吉田 統彦君
8. 6～ 8. 13	イタリア フランス モナコ スペイン	欧州各国における政治経済事情等調査	高木 毅君、笠 浩史君、 田野瀬太道君、新谷 正義君、 三谷 英弘君
8. 20～ 8. 26	ドイツ デンマーク オランダ ベルギー	欧州各国における経済産業事情等の調査	竹内 譲君、関 芳弘君、 岩田 和親君、落合 貴之君、 笠井 亮君
8. 21～ 8. 25	韓国 モンゴル	韓国及びモンゴルにおける政治経済事情等に関する調査	古川 禎久君、中山 展宏君、 逢坂 誠二君
8. 24～ 9. 1	デンマーク スイス ドイツ 英国	欧州各国における財政金融経済事情等調査	塚田 一郎君、越智 隆雄君、 末松 義規君、櫻井 周君、 稲津 久君、田村 貴昭君
8. 27～ 8. 31	カナダ	カナダの政治経済事情等調査及び連邦議会議員との会議・交流促進	衛藤征士郎君、土屋 品子君、 後藤 祐一君
8. 28～ 9. 4	スペイン オランダ スウェーデン	欧州各国における医療等社会保障制度及び労働事情等調査	三ッ林裕巳君、上野賢一郎君、 小川 淳也君、大岡 敏孝君、 田畑 裕明君
8. 29～ 9. 8	ノルウェー トルコ ウズベキスタン 英国	ノルウェー、トルコ、ウズベキスタン及び英国における司法・法務事情等調査	伊藤 忠彦君、牧原 秀樹君、 寺田 学君、大口 善徳君、 宮崎 政久君
9. 3～ 9. 10	ドイツ	ドイツ連邦議会との交流促進及び政治経済事情調査	遠藤 利明君、城内 実君、 小宮山泰子君、川崎ひでと君

3 国際会議及び出席議員等

令和5（2023）年に参加した国際会議及び出席議員、また出席に代わるものとして発出したビデオメッセージは以下のとおりである。

(1) 公式参加した国際会議

【第211回国会開会中】

会議期間	開催地等	会議名	主な議題	出席議員名
令和5 (2023) 3.11～ 3.15	バーレーン (マナーマ)	第146回 I P U 会議 ^(注1)	平和的共存及び包摂的社会の促進：不寛容との闘い	伊藤信太郎君（団長） 亀岡 偉民君（団長代行） 湯原 俊二君 青柳 仁士君
4. 4～ 4. 5	フランス（パリ）	OECD グローバル議員ネットワーク会合 ^(注2)	新型コロナウイルス感染症からの回復の力及び質の最大化とウクライナにおける戦争の経済的・社会的影響への対応ほか	小泉 龍司君（団長） 深澤 陽一君 階 猛君

(注1) I P U（列国議会同盟）は、明治22（1889）年に各国議会により構成される国際機関として設立され、令和6（2024）年2月現在、世界の180か国・地域が加盟している（日本は明治41（1908）年加盟）。日本国会（衆参両院）は、第二次世界大戦による活動停止を経て、昭和27（1952）年に復帰し、以降 I P U 本部の所在するジュネーブや加盟国で開催される定例会議（毎年2回（春・秋））に代表団を公式に派遣している。

(注2) 本会合は、OECD（経済協力開発機構（令和6（2024）年2月現在38か国加盟））と各国議会との関係強化などを目的として、平成15（2003）年に創設された。

【第211回国会閉会中】

会議期間	開催地等	会議名	主な議題	出席議員名
令和5 (2023) 7.12～ 7.13	フランス (ストラスブール)	第41回日本・EU議員会議 ^(注1)	地域情勢及び安全保障問題ほか	船田 元君（団長） 柿沢 未途君（団長代行） 小野寺五典君 務台 俊介君 大西 健介君 漆間 譲司君 山崎 正恭君

会議期間	開催地等	会議名	主な議題	出席議員名
9. 7～ 9. 10	日本 (東京、京都)	第21回G7下院議長会議 ^(注2)	ロシアによる ウクライナ侵略と国際秩序 ほか	細田 博之議長 海江田万里副議長

(注1) 昭和53(1978)年から原則として年1回日欧交互に、日本国会(衆参両院)と欧州議会との間で公式に行われている議会間交流。国際政治・安全保障、経済・貿易、環境、日欧協力等の議題について意見交換を行う。

(注2) G7下院議長会議については343ページ参照。

【第212回国会開会中】

会議期間	開催地等	会議名	主な議題	出席議員名
令和5 (2023) 10. 23～ 10. 27	アンゴラ (ルアンダ)	第147回I P U会議	平和、公正及び 強固な制度(S D G 16) のための議会議 行動	亀岡 偉民君(団長) 高階恵美子君 大島 敦君 青柳 仁士君
11. 23～ 11. 26	フィリピン (マニラ)	第31回アジア・太平洋議 員フォーラム(A P P F)総会 ^(注)	平和、繁栄及び 持続可能性 に向けた強靱 なパートナー シップ	平口 洋君(団長) 菅家 一郎君 篠原 孝君 池下 卓君

(注) 平成5(1993)年、日本の有志議員のイニシアティブに基づき、15か国の国会議員によって組織された議員フォーラム。アジア・太平洋地域の政治・安全保障、地域協力等について、加盟国の議員が討議を行う。令和6(2024)年2月現在の加盟国数は28か国。

(2) 発出したビデオメッセージ

【第212回国会開会中】

会議期間	開催地等	会議名等	主な議題	発出者
令和5 (2023) 10. 24	チェコ (プラハ)	第2回国際クリミア・プ ラットフォーラム議事会 合	ウクライナの 領土の一体性 及びルールに 基づく国際秩 序の回復を目 指す我々の共 同の努力の継 続ほか	海江田万里副議長

4 国賓・公賓等の国会訪問及び行事

令和5（2023）年の国賓・公賓等の国会訪問及び行事は以下のとおりである。

【第211回国会開会中】

年月日	国公賓等別	賓 客	行 事
令和5 (2023) 1. 30	実務訪問 賓 客	キリアコス・ミツオタキス ギリシャ共和国首相一行	衆議院議長表敬
2. 6	参議院招待	マスード・ガラカーニ ノルウェー王国議会議長一行	衆議院議長表敬
2. 22	-	ノルベルト・ラマート 元ドイツ連邦共和国連邦議会議長	衆議院議長表敬
3. 3	参議院招待	ゴンボジャブ・ザンダンシャタル モンゴル国国家大会議議長一行	衆議院議長表敬
3. 6	実務訪問 賓 客	クラウス＝ヴェルナー・ヨハニス ルーマニア大統領一行	衆議院議長表敬
3. 14	外務省賓客	アイマン・アル＝サファディ ヨルダン副首相兼外務大臣一行	衆議院議長表敬
4. 3	実務訪問 賓 客	ラケル・ペーニャ・ロドリゲス ドミニカ共和国副大統領一行	衆議院議長表敬
4. 5	-	ファン・ミゲル・ズビリ フィリピン共和国上院議長一行	衆議院議長表敬
4. 5	-	ニコラウス・シェラク オーストリア共和国日本友好議員連盟会長一行	衆議院議長表敬
4. 11	実務訪問 賓 客	アブドッラー2世・イブン・アル・フセイン ヨルダン国王陛下一行	衆議院議長表敬
5. 26	-	チャン・ルー・クアン ベトナム社会主義共和国副首相一行	衆議院議長表敬

【第212回国会開会中】

年月日	国公賓等別	賓 客	行 事
令和5 (2023) 10.27	—	ヴィクトリヤ・チュミリーテ・ニールセン リトアニア共和国国会議長	衆議院議長表敬
11.17	公式実務訪問 賓 客	サディル・ジャパロフ キルギス共和国大統領一行	衆議院議長表敬
11.21	参議院招待	シア・キアン・ペン シンガポール共和国国会議長一行	衆議院議長表敬
11.29	公式実務訪問 賓 客	ヴォー・ヴァン・トゥオン ベトナム社会主義共和国主席	衆議院議場演説



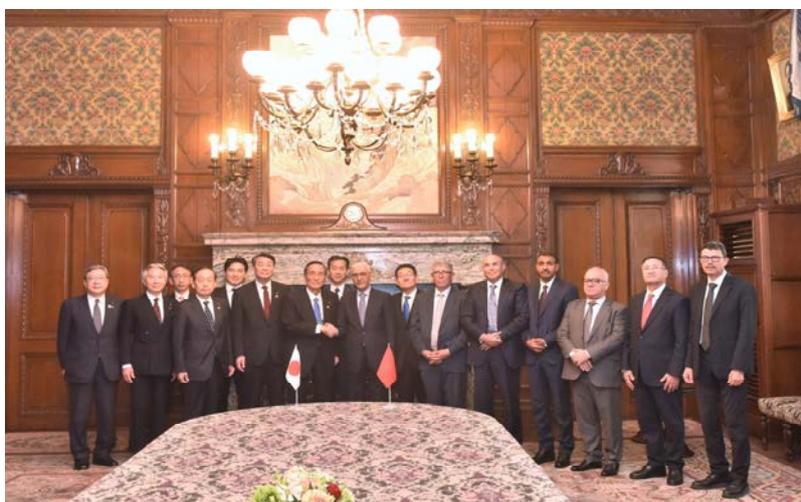
ヴォー・ヴァン・トゥオン
ベトナム社会主義共和国主席夫妻歓迎会（衆議院議場）

5 正式招待による訪日外国国会議員団

令和5（2023）年の正式招待による訪日外国国会議員団は以下のとおりである。

【第211回国会開会中】

議員団名	団長名及び招待人数	招待期間	招待者
アイルランド下院議長一行	ショーン・オフアイル 下院議長 外7名	令和5 (2023) 2.12～2.17	衆議院議長
モロッコ王国衆議院議長一行	ラシード・タールビー・エル・アラミー 衆議院議長 外8名	3.5～3.9	衆議院議長
バングラデシュ人民共和国国会議長一行	シリン・シャルミン・チョードリー 国会議長 外9名	5.24～5.28	衆議院議長
モザンビーク共和国国民議会議長一行	エスペランサ・ラウリンダ・フランシスコ・ニウアーネ・ビラス 国民議会議長 外9名	6.5～6.10	衆議院議長



モロッコ王国衆議院議長一行

【第212回国会開会中】

議員団名	団長名及び招待人数	招待期間	招待者
フランス共和国国民議会議員団	アニー・ジュヌヴァール 国民議会議員 (仏日友好議員連盟会長) 外4名	令和5 (2023) 10.23～10.28	衆議院

6 各委員会の委員長又は委員と訪日外国国会議員団等との懇談

令和5（2023）年の各委員会の委員長又は委員と訪日外国国会議員団等との懇談は以下のとおりである。

【第211回国会開会中】

来訪日	来 訪 者	懇 談 者
令和5 (2023) 2. 7	モンゴル国教育科学大臣	文部科学委員長
2. 10	インドネシア共和国国会議院名誉審査会一行	政治倫理審査会会長
2. 15	ドイツ連邦共和国連邦議会労働社会委員会一行	厚生労働委員会
2. 20	フィリピン共和国下院外交委員会、国際会議及び議会交流委員会一行	外務委員会
3. 2	ノルウェー王国議会労働・社会委員会一行	厚生労働委員会
3. 2	モンゴル国国家大会議議員一行	議院運営委員長
4. 4	ドイツ連邦共和国連邦議会予算委員会、決算委員会一行	予算委員長
4. 24 4. 25	チェコ共和国下院副議長、外交委員会一行	安全保障委員会 外務委員会
4. 24	オランダ王国下院外務委員会一行	外務委員会
4. 25	イラン・日本友好議員連盟会長	外務委員長
5. 16	欧州議会域内市場・消費者保護委員会一行	経済産業委員会
5. 17	欧州議会経済・金融委員会一行	財務金融委員会
6. 7	スウェーデン王国国防大臣	安全保障委員会
6. 7	人道問題担当国連事務次長補兼緊急援助副調整官（国連人道問題調整事務所（OCHA）副代表）	外務委員長
6. 13	チェコ共和国デジタル担当副首相兼地域開発大臣	地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会
6. 19	ウクライナ復興担当副首相兼地方自治体・国土・インフラ発展大臣一行	東日本大震災復興特別委員長
6. 19	ウクライナ最高会議国家管理・地方自治体・地域発展・都市計画委員長	国土交通委員長

【第211回国会閉会中】

来訪日	来 訪 者	懇 談 者
令和5 (2023) 7. 3	欧州委員（農業担当）	農林水産委員会
7. 25	欧州議会外務委員会一行	外務委員会
8. 23	ジョージア議会外交委員長一行	内閣委員会
8. 25	ベトナム社会主義共和国国会文化教育委員会一行	文部科学委員長
9. 5	スウェーデン王国国会労働市場委員会一行	厚生労働委員会
9. 5	ルーマニア大統領府公衆衛生顧問	厚生労働委員会
9. 26	インドネシア共和国国会予算委員会一行	予算委員会
9. 27	マレーシア下院インフラ・交通・通信特別委員会一行	災害対策特別委員長
9. 28	アルバニア・日本友好議員連盟会長一行	外務委員長
10. 2	マレーシア下院国内取引・物価・起業・農業特別委員会一行	農林水産委員長
10. 13	イラン・イスラム共和国国会議員一行	外務委員長

【第212回国会開会中】

来訪日	来 訪 者	懇 談 者
令和5 (2023) 10. 31	欧州議会運輸・観光委員会一行	国土交通委員会
11. 16 11. 17	カナダ日本国会議員連盟共同議長一行	外務委員長 安全保障委員長 経済産業委員長

※ 懇談者欄の「〇〇委員会」は、委員長、理事及び委員、「〇〇委員長」は委員長のみの懇談を表すものである。